

2026 年 9 月 19 日

インド タタ・エレクトロニクスと半導体材料の協業検討に関する覚書を締結

住友化学は、このたび、Tata Electronics Private Limited（以下「タタ・エレクトロニクス」）とインドにおける半導体サプライチェーン構築に向けた協業の可能性を検討するため、覚書を締結しました。本覚書に基づき、当社はインド国内での半導体用ケミカル拠点の設置を含め半導体材料の安定供給体制の構築に向けた具体的な検討を進めてまいります。

インド政府は国家戦略として半導体産業を育成しており、その中で、タタ・エレクトロニクスはインド初となる半導体前工程工場の建設を進めています。半導体市場および関連材料市場の拡大が期待される中、同社プロジェクトは同国における半導体産業基盤の強化に資するものと考えています。

住友化学グループは、ICT&モビリティソリューション事業を成長ドライバーの一つと位置づけ、なかでも半導体材料事業を重点分野としています。先端フォトリソ、半導体用ケミカルをはじめ幅広く事業を展開しており、特に高純度ケミカルは、超高純度化技術や高度な分析技術に基づく品質保証体制とグローバル供給体制を構築し、先端半導体メーカーから高い信頼を得るリーディングカンパニーとしての地位を確立しています。

これまで、半導体用ケミカル事業においては、日本および韓国における能力増強に加え、2022 年に米国・テキサス州に拠点を新設し、26 年に台湾・高雄市および米国・ネバダ州に製造拠点を有する Asia Union Electronic Chemical Corporation を買収するなど、グローバルで事業領域の拡充を進めてきました。量的拡大に加え、26 年には日本と韓国で先端高純度ケミカルセンターの運営を開始し、高生産性プロセスやリサイクル技術などの開発を進めています。今後は、タタ・エレクトロニクスとの協業検討を通じて、インド市場での事業展開の具体化を加速していきます。

住友化学グループは、協業が実現し、インドにおける半導体エコシステムの発展に貢献できることを期待しております。

以上

